

2024 年度

ニチイキッズ梶が谷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 27 日（月）～2 月 20 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月26日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づき指導計画を立て、日々の保育を行ってきた。保育理念・保育方針を念頭に全職員で子ども一人ひとりへの関わり方や配慮を見直して子どもの最善の利益を念頭に努めた。
子どもの発達援助	子どもの発達援助を行っていく上で、日々子どもの姿を共有する時間を設け、課題点や改善点、対応の仕方を考え、時に連携施設に相談をしながら全職員が同じ様に係り保育を行えるよう取り組んできた。保育計画にとらわれず、日々の子どもの様子で柔軟な対応を行い、一人ひとりの発達にあった援助を行うよう努めた。
保護者に対する支援	送迎時にその日の出来事や様子を保護者に伝え、信頼関係の構築に努めた。また、懇談会では保育園や保護者同士の繋がりを作る場として行い、個人面談や保育参観では成長発達を共有し喜び合うことができた。
保育を支える組織的基盤	職員で保育・園児・行事等の在り方を見直し、次に繋げていくための話し合いを行った。また、職員全体で不適切保育に関する研修の場を設けることや職員一人ひとりが研修を受け自己研鑽を行い、全体に報告・共有を図り保育の質の向上に努めた。

総評
今年度は保育参観を行い、子どもの園での様子を見て頂くことができ喜んでいただくことができた。また、面談する時間を設けてご家庭での様子や園での様子を共有し保育に活かすことことができた。STEAM 教育では活動を行うにつれて「誰かのためにしてあげたい」という気持ちが芽生え、子ども同士が話し合い、実践する姿が見られるようになったことが成果として挙げられる。 昨年に引き続き不適切保育に関して学びの時間を設け、職員全体での意識向上を図ることができた、今後も子どもと保護者が安心して利用できる園作りを行ってまいります。